

4月 11日(土曜日)「ダビデ(4) 信仰の勝利」

【新改訳 2017】

Ⅰ サムエル記17・41－54

「ダビデはペリシテ人に言った。『おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おなえがなぶった……万軍の主の御名によって、お前に立ち向かうのだ。……主はおまえをわたしの手に渡される。……』」(45、46節)

ダビデの言動は、経験ある大人たちの常識では、戦争も敵も知らない若者の無知と暴挙に思われたでしょう。確かにダビデには、大人のような年季の入った経験と知識はなかったのですが、羊飼いととしての短い経験と神への信頼(信仰)がありました。神の御名の力を知っていたのです。その力に信頼して、羊の敵である獅子や熊の爪から救い出されてきた経験は、主が巨人ゴリヤテからも救ってくださると彼を確信させたのです(三七節参照)。

ついに少年ダビデは、石投げと一つの石で大適ゴリヤテを倒しました。信仰のない常識は、無意味ではなくとも大きい力は

ありません。しかし、小さな経験や常識も、神の力への信仰とともにある時、大きな力があることを教えられます。

～祈り～

主よ。わずかな経験や知識でも、神の力への信仰がともにある時、大きな力を現わすことを知ります。どうか、万軍の主の御名によって力を尽くすことができますように。

(学びのために)詩篇 84 篇 5-7 節、ヨハネ 15 章 16・21 節、使徒 3 章 6 節、エペソ 5 章 20 節ほか参照。